

教の經典類にまで及んで居り、その中には既に久しく亡佚したもの、若しくはその存在すらも全く知られなかつた貴重なものも多く存してゐる。此の頃争亂を他に避けたものが、逃げる間際に之を洞中に藏して外から塗り込めて置いたものと認められる。

## 六 遺物の管理〔上〕

以上中央亞細亞に於る諸國の探檢の梗概を略述したから、順序として、此等の探檢によつて獲られたものが、今日如何なる状態に置かれてあるかを述べねばならぬ。

英吉利では其の探檢費用が、大英博物館と印度政府との兩方から支出された關係もあつて、獲得品を二分して、英京とカルカッタとの兩方に分管することにした。更に英京のものは、梵語に關係した文記は印度省の圖書館に保管し、其の他のものは大英博物館に在る。此の博物館を訪ふものは、それらの部にスタイン蒐集品として陳列されてある繪畫、彫刻の美術品をはじめ、土偶、古錢の類から種々の考古學上の遺物、さては漢代の年號の記された木簡や、六朝唐代等の奥書ある記録、經卷の類、此の探檢以前には何人もその存在を想像もし得なかつた異體の文字、不明の言語で書き記された文書經典の類が、日々多くの人々の注視の的になつて居るのを認めるであらう。併しながら、陳列されてあるのはほんの一部分であつて、特に文書類に至つては其の大部分が尙同館のずつと奥の広い地下室の中で整理中である。従つて文書の目錄の如きは今なほ出來てゐない。漢文の文籍は主としてジャイルス氏が整理に當つて居るが、完成までにはなほ相當の月日を要することゝ思ふ。一體英國では梵語の外は、今日大し